様式３（2020.06改）

作成日　令和 年　3月　 2日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2394800045
事業所名	グループホームぴいす

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	町内会に加入している。大根区の文化展への作品出品は毎年恒例となっており、ホームと地域との密接な関係が継続されている。近隣住民とは散歩時に挨拶を交わしたりホーム周辺の清掃活動を通じて、地域に溶け込んでいる。星城高校との交流の継続の他、近隣幼稚園とは利用者手製のハガキを通じて交流しており地域に根差した活動も行われている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は2か月毎に開催し、市担当者、包括職員、家族、利用者の意見交換の場として活用されている。出席できない包括担当者には議事録を郵送して運営状況を周知している。会議では日常の困難な事例等具体的に報告、話し合いをしてサービス向上に努めている。日常の様子はパワーポイントで詳細に伝え、運営の実情を周知し、協働関係を深めている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	市担当者とは、推進会議や会議議事録を直接手渡しをして馴染みの関係を深めている。包括支援センターとは認知症カフェのパンフレットの作成等、配布活動の実施等で共同運営し、密接な関係性を築いている。尾三地区事業者合同講習会には書面での研修参加をしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	毎月通信を発行し、利用者の日常の様子を写真やコメントを寄せて活動内容を報告している。意見箱の設置があるが、面会時や介護計画作成時に直接意見を聞く機会を設け、意見や要望は職員間で検討しサービスに反映している。昨年度の目標達成に挙げた看取りへの取り組みは、マニュアルを整備し、利用者や家族の個別の希望に添った支援に努め、相互の信頼関係を深めた。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総　合　評　価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確　認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価				○	○	○	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									